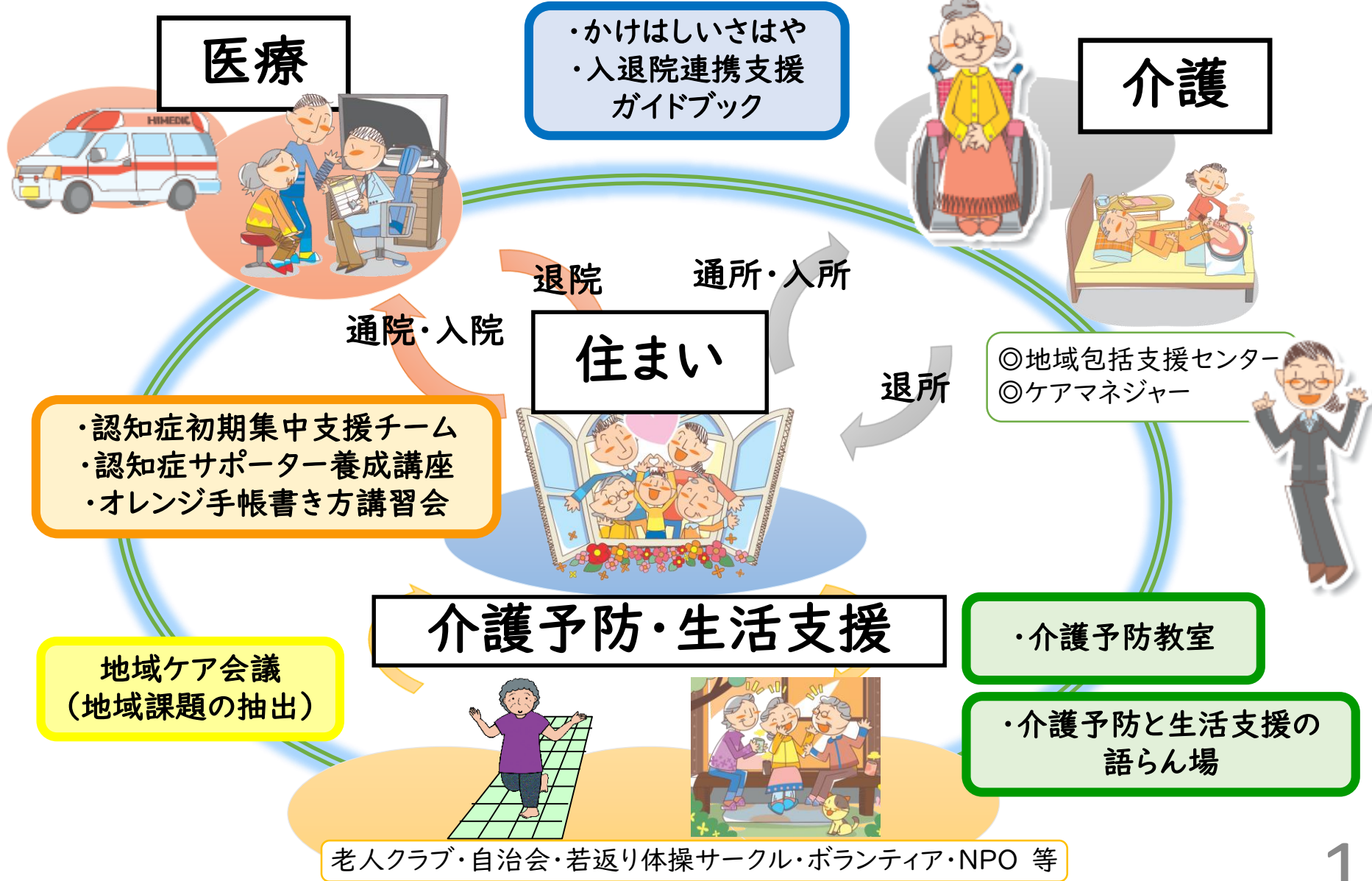


～地域包括ケアシステムのイメージ図～



諫早市における地域包括ケアの推進体制

諫早市地域包括ケア推進協議会【16名】

(地域包括ケアシステム構築のための有識者や関係機関、関係団体の代表者で構成)



在宅医療・
介護連携推進会議

【14名】

認知症対策
推進会議

【14名】

介護予防・日常
生活支援推進会議

【14名】

(市レベル)

(圏域レベル)

地域
ケア
会議

圏域別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)

個別地域ケア会議 (中央部・北部・西部・南部・東部)



住民主体の活動組織 (自治会、民生委員等)

認知症対策推進事業の実施一覧

普及啓発

- 認知症講演会
- 認知症サポーター養成講座
- いさはやオレンジ手帳
- 認知症SOS模擬訓練
- 市報特集

本人・家族 支援

- 専門相談
- 認知症初期集中支援チーム
- 認知症ケアパス ○いさはやオレンジ手帳
- オレンジ連携シート ○多職種協働研修
- 高齢者見守り(ペンダント・GPS)

本人 発信支援

- 講演会等での認知症ご本人の意見を反映
- いさはやオレンジガイド(簡易版認知症ケアパス)

認知症対策推進会議(認知症施策の推進)

目的

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民と医療・介護職が有機的に連携し支援するシステム構築を図る。

実施状況(R4.9.30現在)

- 平成27年度 会議2回 ◆多職種協働研修1回(参加者130名)◆(講演会⇒豪雪のため中止)
- 平成28年度 会議3回 ◆多職種協働研修1回(参加者202名) ◆講演会1回(参加者450名)
- 平成29年度 会議3回 ◆先進地視察7(大牟田市) ◆多職種協働研修1回(参加者183名) ◆講演会1回(参加者800名)
- 平成30年度 会議2回 ◆先進地視察(久留米市) ◆講演会1回(参加者650名) ◆多職種協働研修1回(参加者167名)
◆認知症SOS模擬訓練1回(参加者92名)
- 令和元年度 会議2回 ◆認知症SOS模擬訓練1回(参加者160名) ◆多職種協働研修会1回(参加者152名)
◆講演会1回(参加者950名)
- 令和2年度 会議1回 ◆認知症普及啓発DVD作成にかかるワーキンググループ2回
- 令和3年度 会議1回(書面会議)
◆広報いさはや(9月号)認知症特集 ◆多職種協働研修会1回(オンデマンド配信、視聴者971名)
- 令和4年度 会議1回 ◆アルツハイマー月間における取組

これまでの検討状況・成果

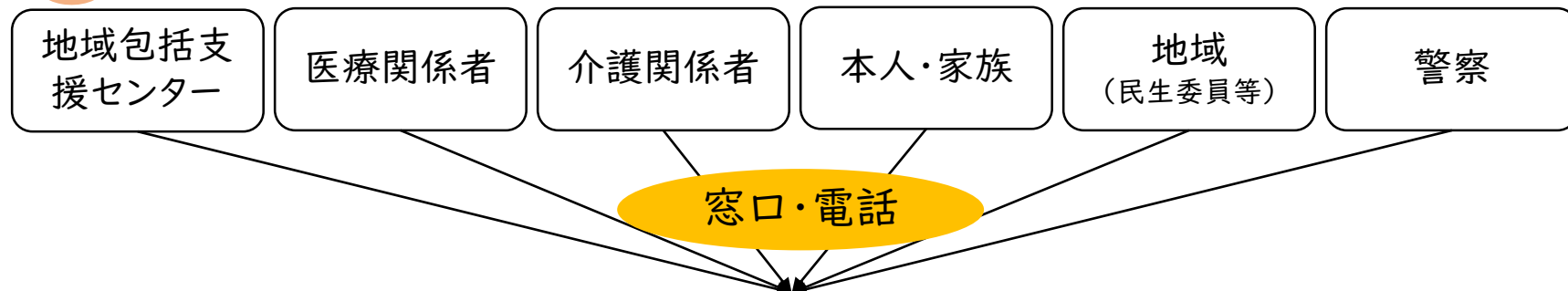
- 認知症初期集中支援チームの設置(平成28年度～) 受付件数173件(令和4年3月末)
主な事例 ①近隣トラブルがある認知症が疑われる独居事例←介護サービス利用へ
②前頭側頭型認知症で暴力、暴言行為で家族の介護負担の大きい事例←介護サービス利用へ
③認知症診断後に治療中断し受診、介護サービス利用に強い拒否のある事例←精神科受診し入院へ
- 認知症初期集中支援チーム検討委員会設置(平成28年度から推進会議を位置付け)
- 認知症SOS模擬訓練の実施(平成30年度～)
- 認知症サポーター数(平成20年7月～) 13,405人(令和4年3月末現在)
- オレンジ見守りペンダント等配付事業(平成29年2月～)
- 位置情報確認装置(GPS)の貸与(平成12年～)
- 認知症ケアパス(平成29年度) ○いさはやオレンジガイド(本人視点簡易版認知症ケアパス)(令和4年度)

これからの課題

- 認知症SOS模擬訓練のマニュアル作成
- 本人発信を支援する事業のあり方検討

令和4年度認知症相談支援実績（12月末時点）

相談者



地域包括ケア推進課（認知症地域支援推進員） 相談実件数95件

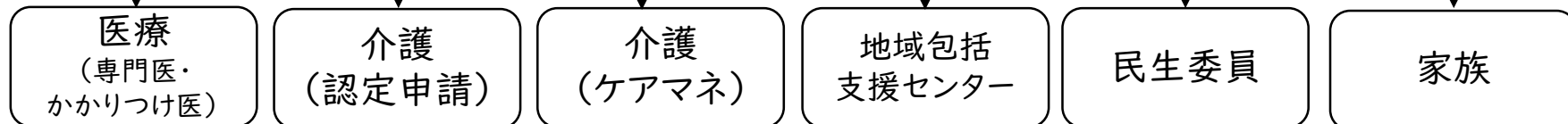
- ・認知症専門嘱託医
- ・保健師
- ・認知症地域支援推進員

専門相談
(実件数8件)

初期集中支援チーム
(実件数6件)

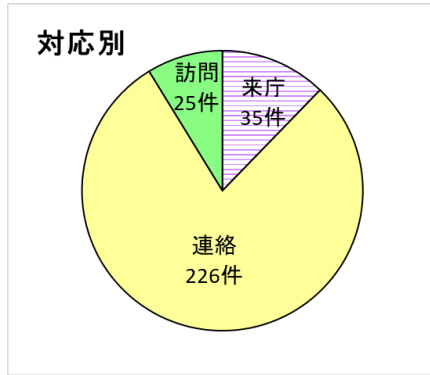
必要時
戻る

対応結果

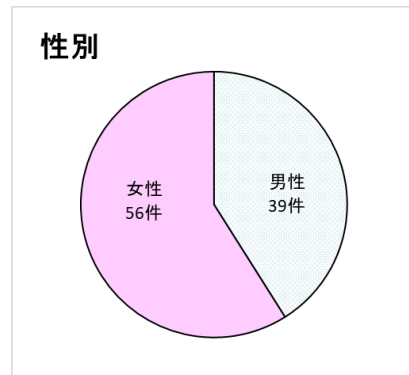


令和4年度認知症相談支援実績内訳（12月末時点）

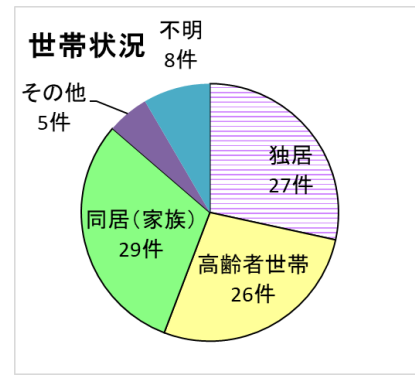
相談受付チーム実績について(R4.4.1~R4.12.31) ※令和4年度相談者 95名(実数)



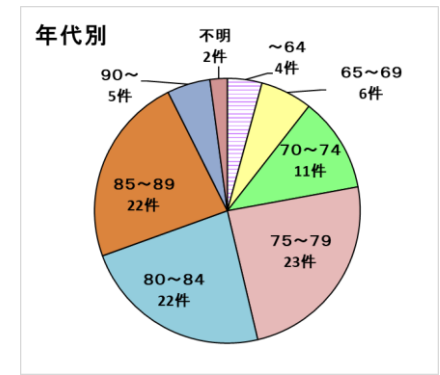
来庁	連絡	訪問
35	226	25



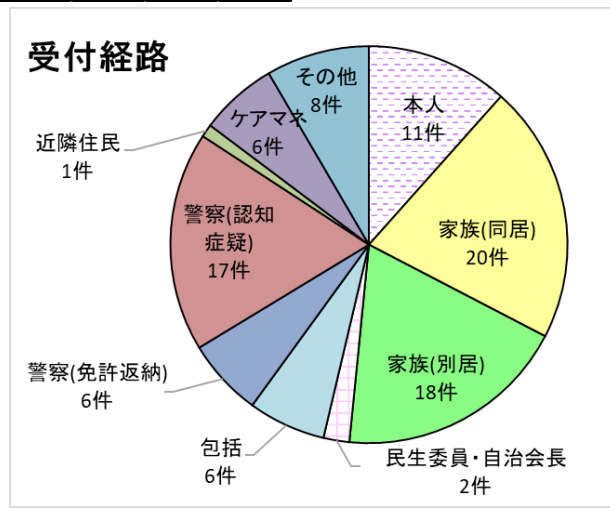
男性	女性
39	56



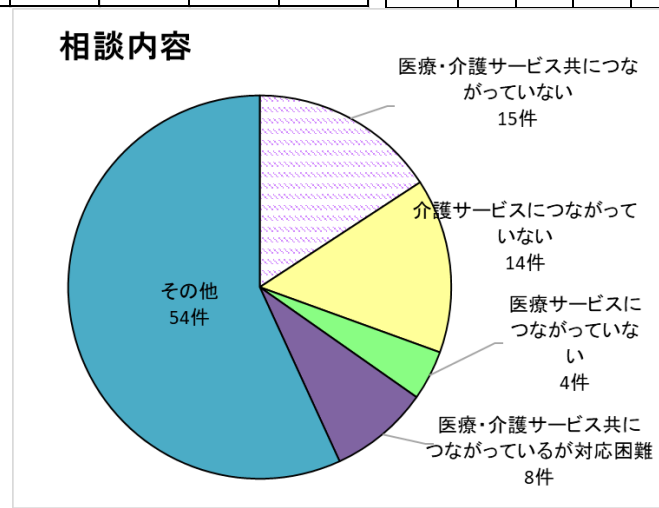
独居	高齢者世帯	同居(家族)	その他	不明
27	26	29	5	8



~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90歳~	不明
4	6	11	23	22	22	5	2

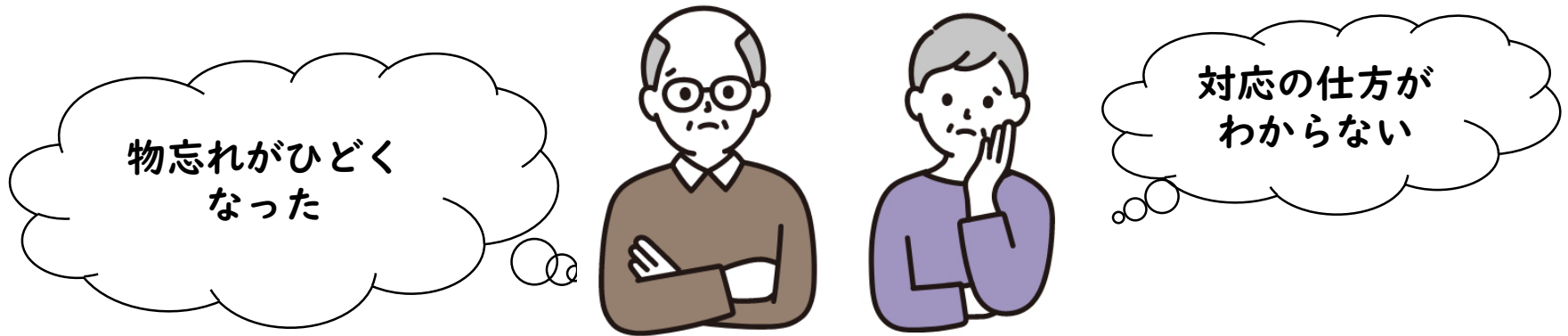


本人	家族(同居)	家族(別居)	民生委員・自治会長	包括	サービス利用者把握	警察(免許返納)	警察(認知症疑)	近隣住民	ケアマネ	その他
11	20	18	2	6	0	6	17	1	6	8



医療・介護サービス共に繋がっていない	介護サービスに繋がっていない	医療に繋がっていない	医療・介護共に繋がっているが対応困難	その他
15	14	4	8	54

認知症専門相談



【目的】認知症に関する相談を受けることで、認知症の本人や家族が
住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支援する。

【対象者】認知症やその心配がある高齢者・家族または支援に関わる方

【従事者】認知症専門嘱託医・保健師・認知症地域支援推進員

【場所】諫早市役所 会議室

【日時】毎月 第2金曜日

13時30分～15時(1枠30分)

【料金】無料

※事前予約が必要



いさはやオレンジガイド

令和4年
完成!

～諫早市認知症ケアパスを基に

本人視点を盛り込んだ簡易版認知症ケアパスに～

【経過】

- ・平成29年度諫早市認知症ケアパス作成
- ・地域住民、医療、介護関係者向けとして作成。
認知症対策推進会議にて「情報量が多い為簡易的なものが必要」との意見あり。
- ・平成30年度実施の「認知症の人の心の声アンケート」の内容を盛り込む。
- ・令和元年度より案を作成し、認知症推進会議にて意見聴取し修正。
- ・本人が使いやすい認知症ケアパスを作成し、空白の期間への対応を図る。
- ・情報を詰め込まず、シンプルな構成にし、諫早市認知症ケアパスに繋ぐ。



認知症は「誰もがなりうる身近な病気」です。認知症とは脳がダメージを受け、生活がしづらくなった状態です。進行は緩やかで個人差があります。

こんな症状に心当たりはありませんか？

- なんでもしだい込み、探し物が多くなった
- 何度も同じことを言ったり、尋ねたりするようになった
- 急用でもないのに頻りに電話をかける事が増えた
- 使い慣れた物の操作ができなくなった
- 同じ物がばかり買ったり、調理したりする
- 冷蔵庫の中に同じ品物が多数入っている
- 以前と違い、疑り深く、怒りっぽくなった

もしかすると、**認知症**かもしれません
市地域包括ケア推進課 ☎22-1500 へご相談ください

私の希望 をかえるサービス 活動の一覧

希望	元来な時	初期	中期	後期	
私の希望	認知症 かもしれない 物忘れはあるけど 自分のは 程度でできます	普通の生活は自分できる	誰かの見守りがあれば 普段の生活は自分できる	普段の生活に 手助けや介護が必要	常に介護が必要
予防 (備え)	◆より良いサービスを受けるための私の情報共有 ◆認知症の正しい理解をしよう	◆近所さんと一緒に ◆地域活動・ボランティア ◆かかりつけ医 ◆かかりつけ科医 ◆物忘れ相談	◆声かけや見守り ◆認知症カフェ ◆認知症ポーター	◆市地域包括ケア推進課 ☎22-1500 ◆市社会福祉協議会 ☎24-5100 ◆市地域包括ケア推進課 ☎22-1500 ◆市社会福祉協議会 ☎24-5100	◆市地域包括ケア推進課 ☎22-1500 ◆市社会福祉協議会 ☎24-5100
交流 役割					
病院と 介護保険					
私も家族 も安心					

認知症は「誰もがなりうる身近な病気」です。認知症とは脳がダメージを受け、生活がしづらくなった状態です。進行は緩やかで個人差があります。

こんな症状に心当たりはありませんか？

- なんでもしだい込み、探し物が多くなった
- 何度も同じことを言ったり、尋ねたりするようになった
- 急用でもないのに頻りに電話をかける事が増えた
- 使い慣れた物の操作ができなくなった
- 同じ物がばかり買ったり、調理したりする
- 冷蔵庫の中に同じ品物が多数入っている
- 以前と違い、疑り深く、怒りっぽくなった

もしかすると、**認知症**かもしれません
市地域包括ケア推進課 ☎22-1500 へご相談ください

※八折り版で手に取りやすいよう工夫

認知症サポーター養成講座

【目的】

認知症についての正しい知識をもち、認知症の人やその家族への理解を深めるとともに、認知症の人が地域で安心して暮らせるよう、声かけや対応の仕方の学ぶ。

【内容】

- ・認知症の人と家族の会の講話
(家族の気持ちを理解する)
- ・DVD視聴
(認知症本人の戸惑いについて)
- ・認知症の人の対応を体験
- ・意見発表

【実績】(平成20年7月～令和4年12月)

開催回数:451回

サポーター数:13,763人

開催場所:

図書館・小中学校・老人クラブ・看護学校・医療機関
地区社会福祉協議会・学童クラブ 等

【いさはやオレンジバッジ】



認知症の人やその家族の
応援者の証として、認知症サポーター
養成講座を受講修了された方に渡して
います。諫早市独自のバッジです。



いさはやオレンジ手帳書き方講習会

◆いさはやオレンジ手帳◆

認知症に備えて、元気な頃から、今まで生きてきた暮らしや思い、希望等必要な情報をまとめておくことができる手帳

【目的】

- オレンジ手帳に自分史(エピソード)を書き残し、認知症に備える
- 地域に認知症への理解者を増やす

【内容】

- <定期開催> 介護予防教室(脳トレ)30分程度
- <不定期開催> 65歳以上の10名以上のグループからの申請、60分程度

【令和4年度実績】

実施回数 16回、延べ参加者数 176人(R4年12月時点)

【シート項目】

- ・覚え書き ・私のプロフィール ・自分史シート
- ・いままでシート なじみシート
- ・これからの生き方 ・暮らし方シート ・安心マップ

